

議員と語ろう会 実施報告書

日 時	令和7年8月29日（金） 19:00～20:30
会 場	あわらし商工会本所2階大ホール
団体名（参加人数）	あわらし商工会女性部
参加議員	北島（リーダー）、島田、中垣内、中嶋

【意見交換の内容・所感など】

<意見交換の内容（事前質問と回答）>

- 新幹線停車駅にタクシーがないことをどう思うか
 - 昨年度は JR 芦原温泉駅とあわら湯のまち駅で夜間タクシー待機事業を実施したが、今年度は利用低調・県補助終了により、JR 側のみ継続中。タクシー配車アプリや「あわらぐるっとタクシー」、「あわらし乗合タクシー」の活用も推奨したい。
- 夏休みは学校給食がなくなるが、困窮世帯の子どもへの影響を市は把握しているか
 - 学校・福祉が連携し、経済的困窮が見られる児童の把握・見守りに努めている。子ども食堂への委託やフード支援も実施中。
 - 2025 年 4 月策定の「子ども・若者計画」のだれ一人取り残さない環境づくりの方針に基づき、引き続き強化していく。
- 小中学校において子どもに「姿勢教育」を実施しているのか
 - 近年は 1 人 1 台タブレットの配布により子どもたちの姿勢を懸念する声も多く、文科省としても課題感を持って各自治体・学校へ指導を依頼している。あわらし市において実際にどの程度実施できているかは把握できていないが、生活指導のひとつとして正しい姿勢を指導されていると思う。
 - ご家庭での指導も併せてお願いしたい。
- 新幹線開業後の駅前の景観整備が遅れているのではないか
 - 竹田川周遊エリア整備事業がスタートし、これから整備が進んでいく。
 - 「水と緑と歴史がつながる風景づくり」の景観ガイドラインに基づき、外観色の配慮や緑コンテナボックスの配置を行っている。景観まちづくり協議会では、毎年総会も実施している。
 - 議会では先日、a キューブも含めた駅前の賑わいを創出する案の説明を受けた。

<当日出たご意見>

- 湯のまち駅前ロータリー安全対策について。昨年度もこの会で依頼したが、湯のまち駅前のロータリーは植栽で視界が悪く危険である。逆走事故も起きているため、植栽を伐採した方が良いのではないか。
 - 道路の危険については、あわらし市は「My City Report」というアプリで直接担当課に通報が可能。ぜひ利用いただきたい。
- 湯のまち駅前の通りは、駅前なのに除雪が遅い。遅くなってしまう理由はあるのか
 - 後日回答します。

- 湯のまち駅前の実証実験のプロジェクトでは、あわら市外の業者が照明設置作業を行っていた。あわら市の業者を使うべきではないか。
- 観光地が点々としている。まず芦原温泉駅と湯のまち駅との交通連携が必要ではないか。各議員の意見は。
 - 必要だと思う。ただ、市が交通の課題を解決すれば、本当に滞在・回遊性が高まるのかはわかっていない。まずは今回の湯のまち広場の実証事業のように小規模で実験をしてから市全体に広げていくのが良いと考えている。（中嶋）
- 市境エリアの移動手段を確保してほしい。三国よりの住民は三国で買い物をする。高齢者や免許返納者が増えてくることを想定して、坂井市と連携してほしい。
- 公式LINEの配信が多すぎ・長すぎて読みきれない。自分の欲しい情報だけ選べると良い。
 - 受信カテゴリ設定（情報登録フォーム）をご利用いただくと良い。未設定だと全件受信になる。
- 市の情報提供が不十分ではないか。MyCityReportなど知らない情報もあった。
 - 議会としての情報発信については、今後議会だよりに留まらず様々な手段での情報発信を検討している。

<感想>

今回の語ろう会では、女性事業者ならではの視点から、観光・子育て・交通など幅広い課題について多くのご意見をいただきました。

参加者の皆さまからは「今回初めて知った情報が多かった」との声も多く、市としての広報活動に課題があることを改めて感じました。

また、「知り合いの議員がいれば相談しやすいが、多くの市民にとってはそうではない」というご意見も寄せられ、広聴機能の重要性を再認識しました。

一方で、今回の語ろう会自体が、行政や議会の情報を伝えるとともに、市民の声を受け止める広報・広聴の場として大きな役割を果たしているとも感じています。

今後は、より多くの市民にこうした会の存在を知っていただけるよう、周知にも力を入れていきたいと考えています。

令和7年9月1日

あわら市議会議長 様

作成者 中嶋 瑞希